

トランプが変える世界秩序と日本の戦略

笹川平和財団 日米・安全保障研究ユニット上席フェロー

渡部恒雄

- *物言えぬアメリカ社会
- *暴力におびえる議員たち
- *王様否定の米国憲法
- *強い相手には足元を見られる
- *行ったり来たりの大統領
- *シンゾー・アベ・モメント
- *攻撃、攻撃、攻撃
- *トランプに欠けている粘り腰
- *世界から引いていく米国
- *日本の戦略は？



山縣 それでは開会いたします。（拍手）
本日は、笹川平和財団の上席フェローをなさ
つています渡部恒雄先生にお越しいただきまし
た。

皆様ご存じのように、トランプ大統領が就任
してから、国内外で破天荒、横紙破りの政策を
次々連日のように打ち出して、アメリカも世界
もかなり混乱をしておりますけれども、最近で
は、ロサンゼルスに海兵隊を送ったと思ったら
ばイランを爆撃して、イランを爆撃したと思っ
たらイスラエルとイランの和平を仲介するんだ
というようなことを言っています、たいへん
目まぐるしい動きになっております。
79歳のアメリカ大統領の体力にもちよっと驚
きますけれども、アメリカを専門とされている

渡部先生も、これを毎日、毎日追っていくわけ
で、夜寝ているうちにアメリカは動きますから、
大変だと思います。

去年もアメリカ大統領選挙がありましたから
お忙しかったわけですが、今年はますます大変
です。今後どうなるんだというような展望まで
聞かれてしまいますから、非常に予測不能な大
統領相手に格闘されているところがある
と思います。

今日は定石なきトランプを相手にして、アメ
リカはどうなっていくか、それから日本がどう
すべきかも含めまして、皆さんとじっくりお話
を伺いたいと思います。

それでは先生、よろしく願いいたします。
（拍手）